

確かな教材研究に根ざした 国語科学習指導の研究

最終更新日：2015年8月31日

国語教育講座
教授
河野 智文

キーワード

・国語科 ・教材研究 ・言語活動 ・授業研究

研究シーズの説明 (私は、このような研究に取り組んでいます。)

私は、国語単元学習の研究に取り組んでいます。国語単元学習は、現在「言語活動の充実」のもとに提案・展開されている国語科学習指導の考え方と、多くの共通点があります。戦後の一時期、集中的に追究された国語単元学習の実践的研究が、現在の国語科学習指導に示唆するところは少なくありません。

国語科における単元学習は、指導方法論にとどまらず、目標論・学力論・評価論・教育課程論など多岐にわたる観点を内包しています。このことが、国語科学習指導の実践的研究に取り組むとき、的確かつ有効に機能してくれると考えています。

いっぽう、大学での授業では、教材研究を精緻におこなうこと、「教材が読める」教師として育つことをとくに心がけています。そのために、さまざまな教材を取りあげて、「読み」の可能性を考えています。

成果の応用可能性 (私の活動の成果は、このような分野にこのように貢献することができます。)

「言語活動の充実」を意識して展開される国語科学習指導の中には、「活動」の方へ重点がかかりすぎ、教材の特長がじゅうぶんには生かされていないものが見られます。どの教材を用いても同じような活動や展開になっていたり、教材の本質に根ざした問いにもとづく解釈や思考とその交流が軽視されていたりする授業です。

学習者の主体的・自律的な活動を通して育成する学力も、もちろん大切です。それとあわせて、この教材だからこそつけることのできる力、開くことのできるものの見方を的確に設定し、「活動と認識」、「方法と内容」が効果的に調和した国語科学習指導の実践的研究に、貢献することができるのではないかと考えております。

これまでの連携研究や社会貢献活動の実績

- ・福岡市教育センター・非常勤研修員による調査研究(G研)への助言。(平成26年度)
- ・福岡県教育委員会・授業力強化講座・研究授業への助言(平成26年度)
- ・宇美町小中連携授業改善研修会・研究授業への助言(平成26年度)
- ・小学校の校内授業研修会(平成26年度は7校)、研究発表会(平成26年度は3校)